Euglena Group

日興Web IR Day

株式会社ユーグレナ
東証プライム市場（証券コード：2931）

2023.09.04

【留意点】　当社は、2021年8月26日開催の臨時株主総会における承認決議により、決算期（事業年度の末日）を9月末から12月末に変更致しました。
その結果、2021年12月期（第17期）は経過期間として2020年10月から2021年12月までの15ヶ月間の決算期となります。
【免責事項】 本資料に記載されている予測、見通し、戦略およびその他歴史的事実ではないものは、当グループが資料作成時点で入手可能な情報を基としており、その情報の正確性を保証するものではありません。これらは経済環境、経営環境の変動などにより、予想と大きく異なる可能性があります。

Copyright Euglena Co., Ltd. All rights reserved.

ユーグレナ

ユーグレナ社の紹介

株式会社ユーグレナの紹介

ユーグレナ

いきる、たのしむ、サステナブる。

フィロソフィー（経営哲学）

Sustainability First

サステナビリティ・ファースト

パーパス（存在意義）

人と地球を健康にする

- 東京大学発ベンチャー企業。
- 2005年12月に世界で初めて微細藻類ユーグレナの屋外大量培養に成功
- 東証プライム市場上場
- 株主数11万人突破

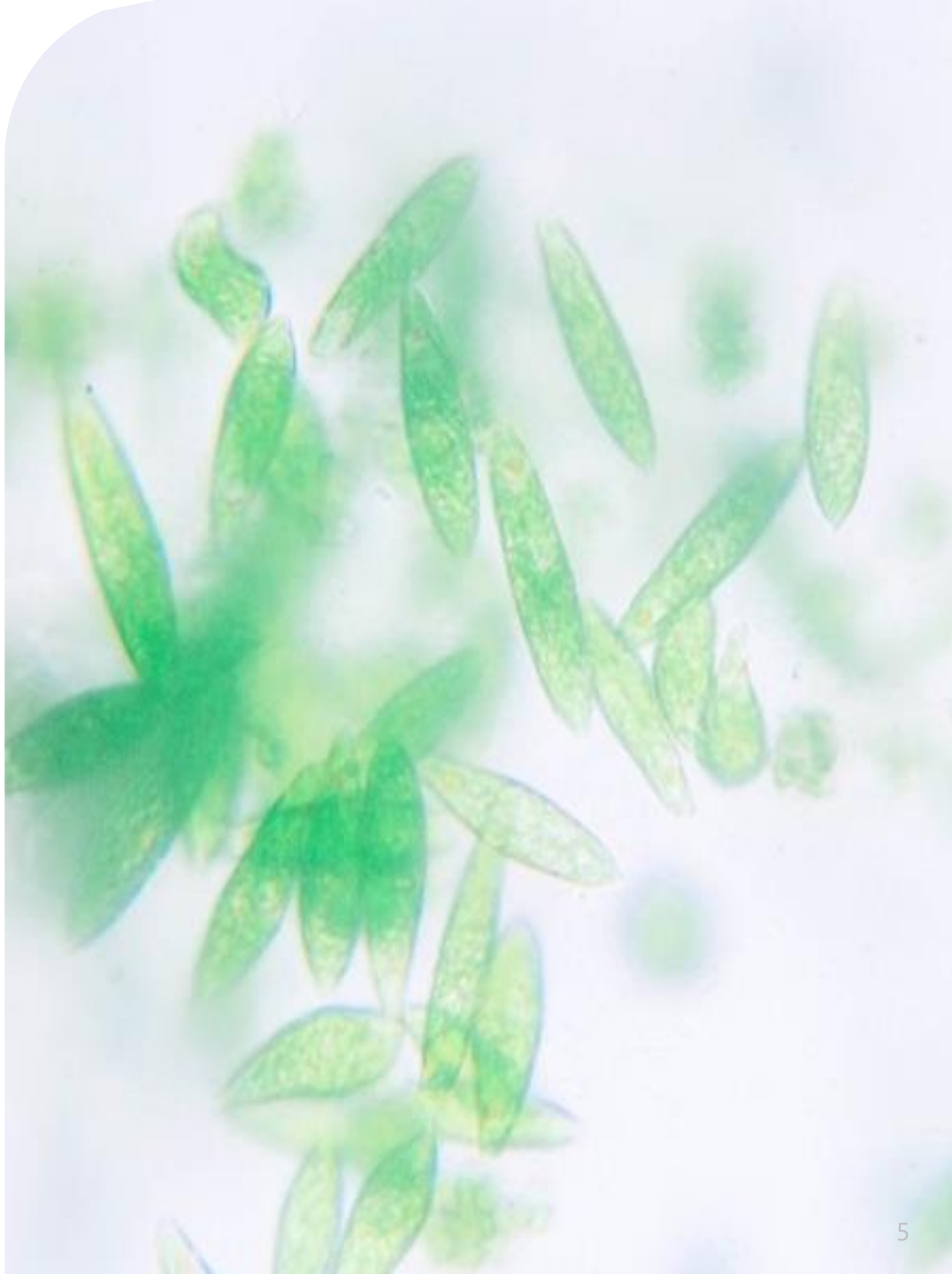
Copyright Euglena Co., Ltd. All rights reserved.

創業時の想い

“バングラデシュで目のあたりにした栄養失調の問題を
栄養豊富な食材で、解決したい。”

辿り着いた当社独自素材「ユーグレナ」

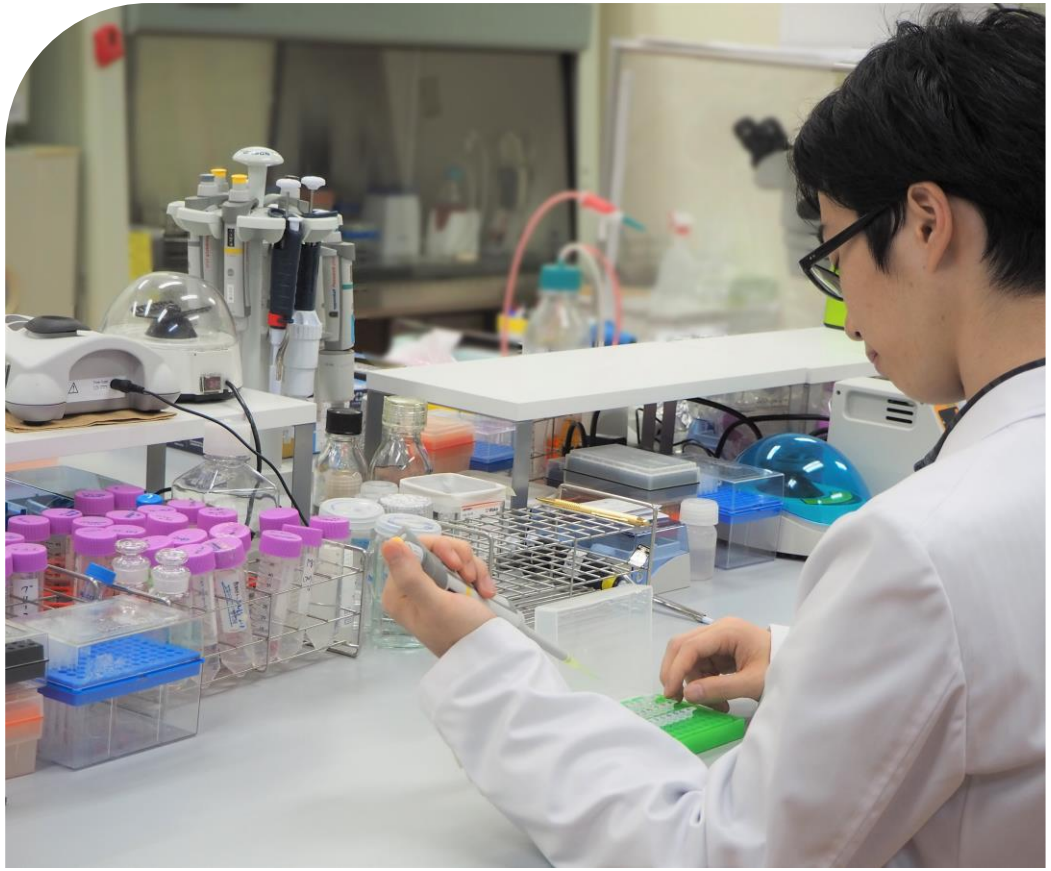
- 豊富な栄養素と独自成分パラミロン
- ミドリムシからバイオ燃料が生産可能



Copyright Euglena Co., Ltd. All rights reserved.

世界初、ユーグレナの屋外大量培養技術の確立

ユーグレナ生産拠点（2005年当時）
＠沖縄県石垣島



中央研究所
＠横浜市鶴見区

ユーグレナグループの歩み - サステナビリティを軸とした事業展開

東証マザーズ上場以降の10年間で、バングラデシュの人々を健康にするという創業時の想いと、バイオ燃料フライトの実現という上場時の目標を共に実現

1998
創業者出雲が
バングラデシュ
を訪問

2005
ユーグレナ創業
世界初ユーグレナの
屋外大量培養成功

2012
東証マザーズ
上場

2014
東証一部上場
バングラデシュで
ユーグレナGENKI
プログラム開始

2018
日本初のバイオジェット・
ディーゼル燃料製造
実証プラント完成

2019
Sustainability First
フィロソフィーを
『サステナビリティ・
ファースト』に

2020
国連世界食糧計画
（WFP）と事業連携

2021
当社バイオ燃料「サステオ」を
利用した初フライト

定款の事業目的をSDGsに

2022
3社共同で
商業プラント
建設を発表

東証プライム
市場へ移行

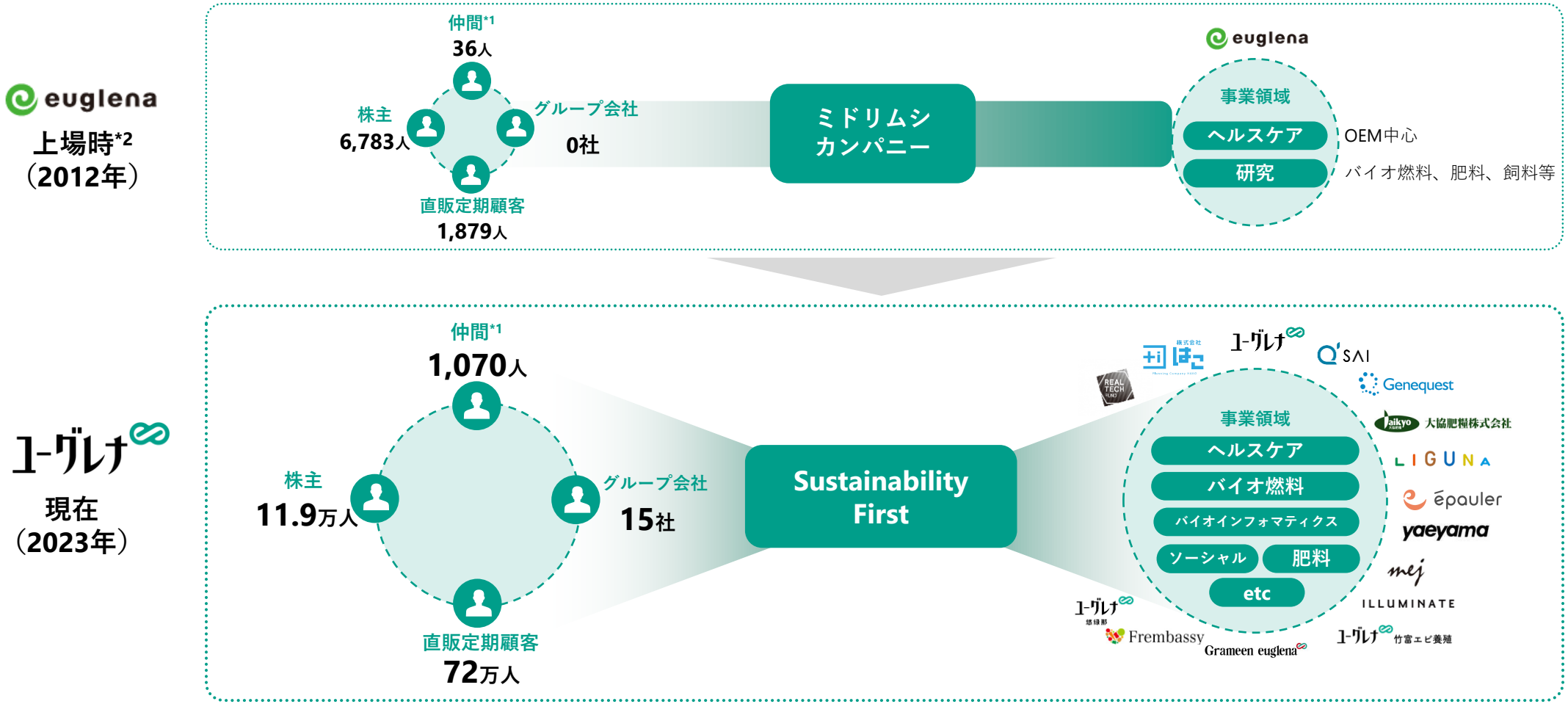
JPX PRIME TOKYO

2022.12
上場
10周年

Copyright Euglena Co., Ltd. All rights reserved.

上場10年の振り返り - サステナビリティ企業への転換

ミドリムシ企業からサステナビリティ企業へと転換し、10年で多くのステークホルダーと企業を巻き込みながら事業を成長



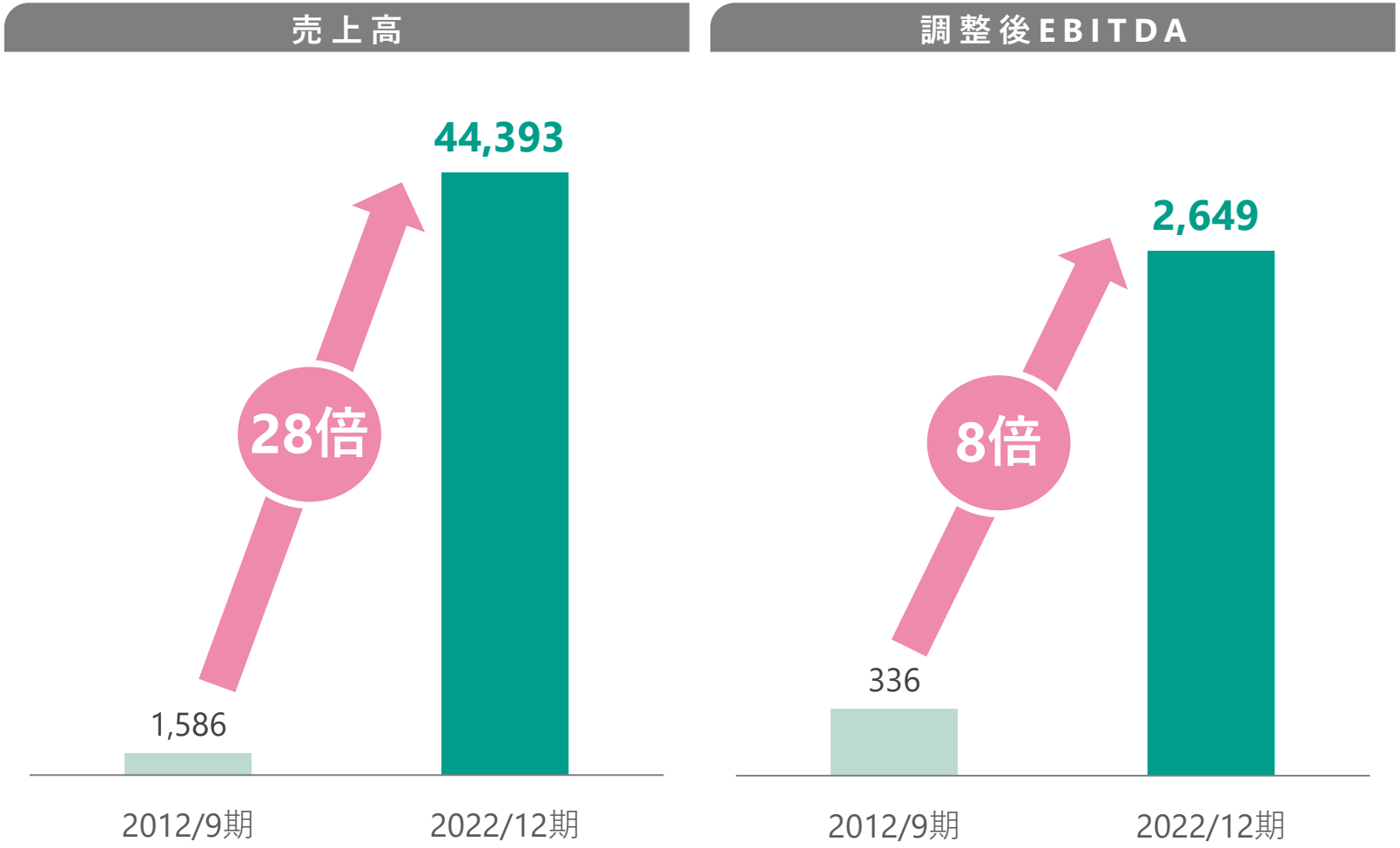
Copyright Euglena Co., Ltd. All rights reserved.

*1: ユーグレナグループで従業員のことを仲間と呼ぶ。役員、派遣を除く従業員数のこと。
*2: 仲間数は2012年9月末、定期顧客数は2012年12月末、株主数は2013年3月末時点

上場10年の振り返り - 事業規模

上場後10年間で
事業規模は飛躍的に拡大

社会的インパクトを
拡大するために、
一貫して事業成長を追求



注: 単位は百万円。2022/12期は新収益認識基準適用後ベース

Copyright Euglena Co., Ltd. All rights reserved.

ユーグレナ・グループの今 - サステナビリティを軸とした事業展開

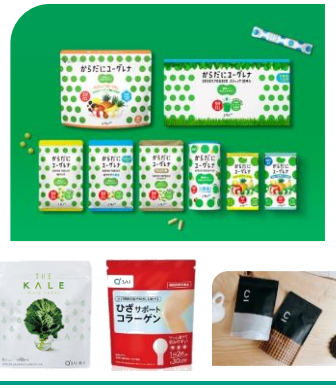
「Sustainability First」のもと、サステナビリティを軸に様々な事業を展開

成長投資、パートナーシップ、M&Aを活用しながら、事業成長を通じた社会問題の縮小を目指す

主要セグメント概要

ヘルスケア事業

健康食品



化粧品

その他事業（新規領域）

サステナブルアグリテック（1次産業）

バイオインフォマティクス

ソーシャルビジネス

バイオ燃料事業

ユーグレナ・フィロソフィー

Sustainability First

ユーグレナグループの仲間全員が
”自分たちの幸せが誰かの幸せと共存し続ける方法”を
常に考え、行動している状態

事業インパクト
当社事業の成長
Good

＝

社会インパクト
社会問題の縮小
Good

パーパス

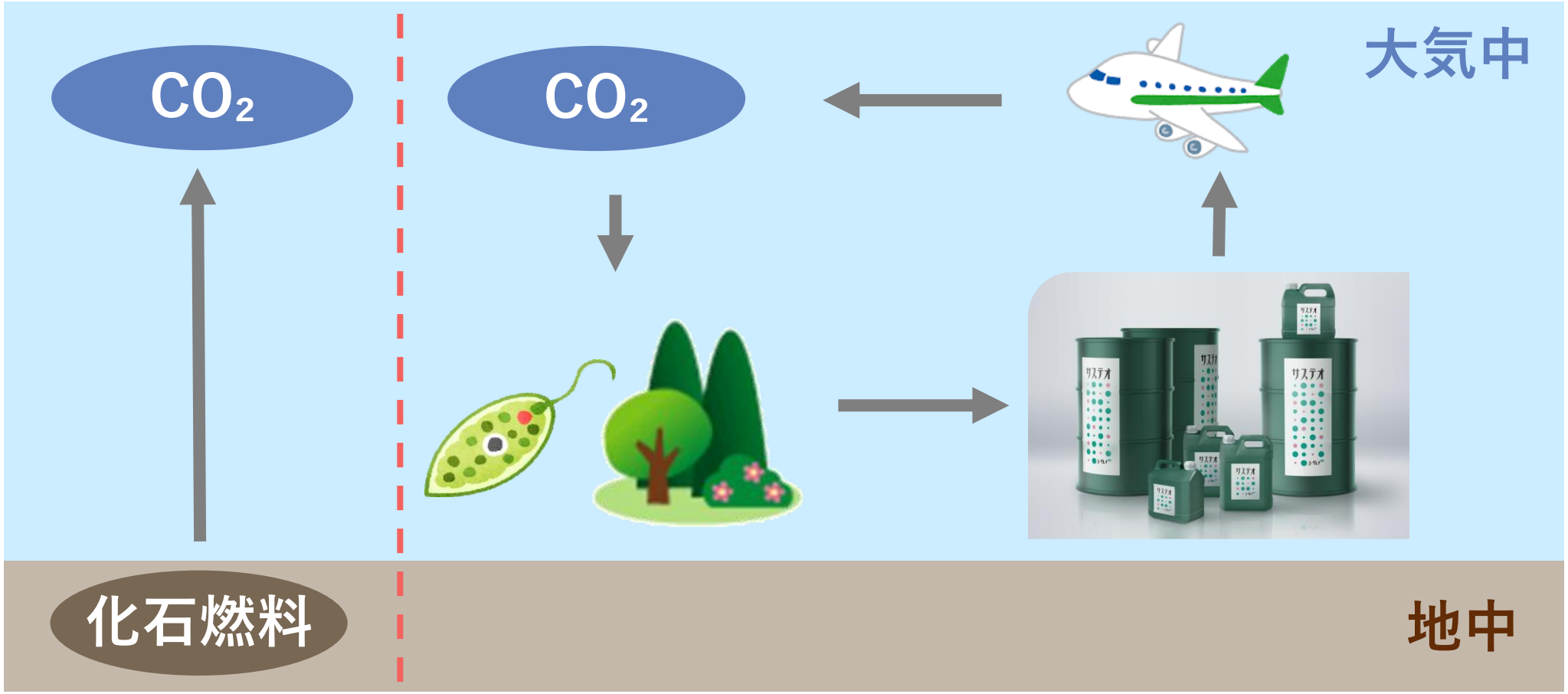
人と地球を健康にする

Copyright Euglena Co., Ltd. All rights reserved.

バイオ燃料事業

バイオ燃料とは

生物由来の原料を利用して製造される燃料で、バイオマス原料は成長過程で光合成によって大気中のCO_2を吸収するため、燃焼時のCO_2排出量はプラスマイナスゼロになる



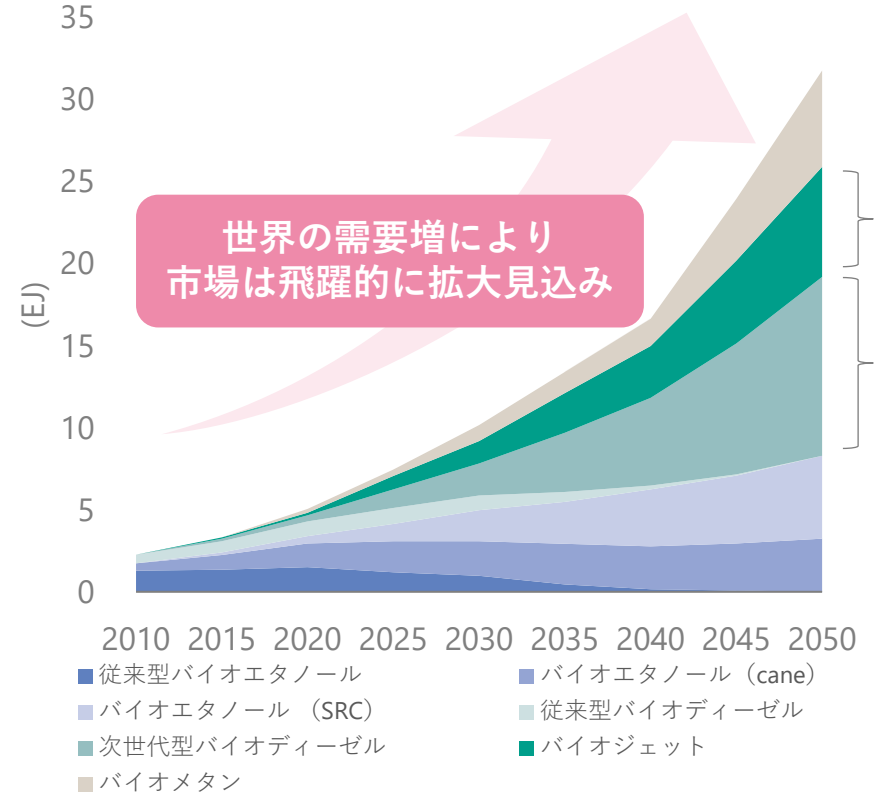
Copyright Euglena Co., Ltd. All rights reserved.

業界動向 - 国内外におけるバイオ燃料需要の顕在化

世界的な需要増により、バイオ燃料価格は石油由来燃料比で高値で推移

短期的な変動はあるものの、需給ギャップ拡大により中長期的には価格上昇を見込む

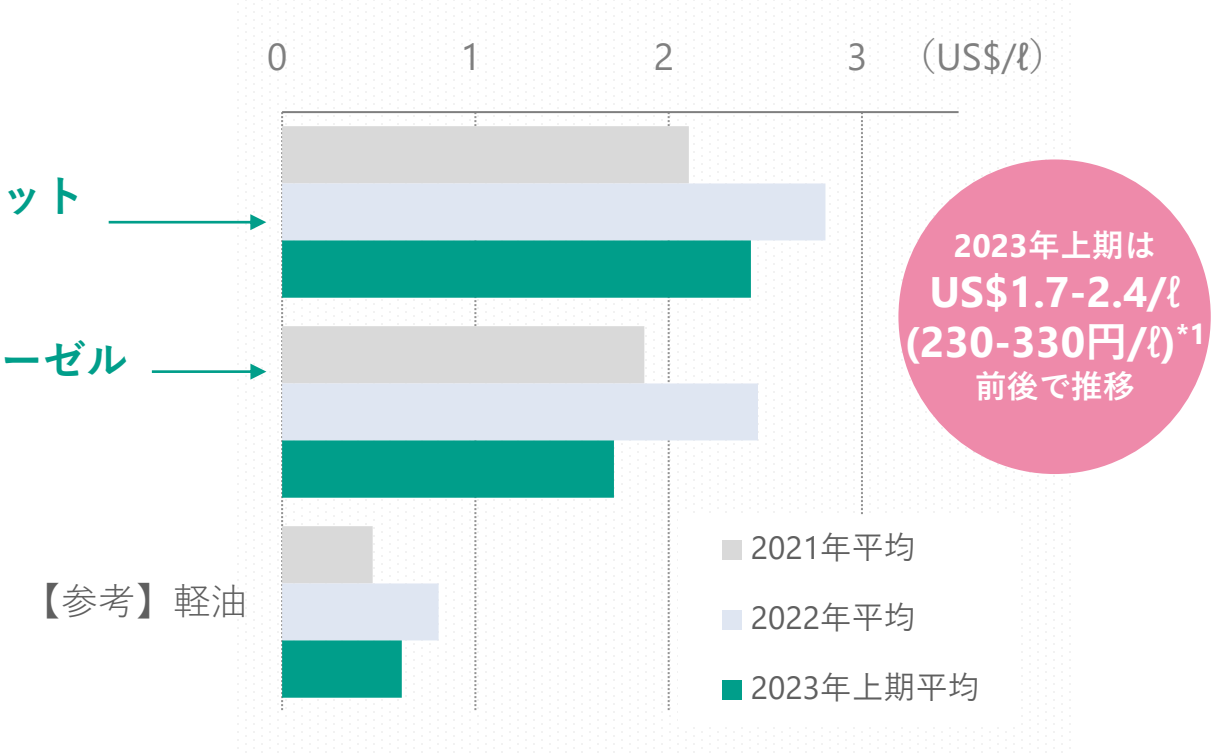
世界のバイオ燃料消費量の見込み（IEA）



バイオジェット（SAF）

バイオディーゼル（HVO）

海外市場価格*1



Copyright Euglena Co., Ltd. All rights reserved.

*1: Argus Biofuels等のデータを基に当社作成。比重0.8g/cm3、為替レートは1ドル=138円で試算

ビジネスモデル

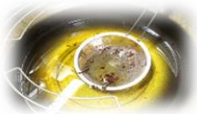
原料を調達/生産、バイオ燃料（SAFやHVO）を製造し、陸海空ユーザーに販売

旺盛な需要を見据えて、当社は実証/商業プラント建設を着実に推進。安定的な原料調達/生産が中期的な課題

①原料調達/生産	②製造	③販売

有限な原料ソースであり、中期的には安定的な調達が課題

産業廃棄油等の調達



＋

微細藻類ユーグレナ等のバイオマス生産

サステナブルな原料ソースであり、独自開発できれば競争優位性に直結

バイオマス油脂

ユーグレナ

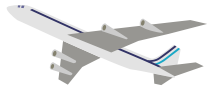
2018年実証プラント完成
（125KL/年@神奈川県横浜市）

2025年商業プラント完成目標
（72.5万KL/年@マレーシア）

日本企業が関わるプロジェクトとしては最大級かつ最速ペース

SAF

バイオジェット燃料



サステオ

気候変動対応ニーズの高まりと供給不足により、旺盛な需要

HVO

次世代バイオディーゼル燃料

Copyright Euglena Co., Ltd. All rights reserved.

実証 - バイオ燃料供給先の拡大と多様化

陸・海・空の全領域でバイオ燃料供給先を拡大かつ多様化

バイオ燃料供給実績

累計84件

公用車

トラック

バス

小型船

消防車

タグボート*1

ガソリンスタンド
＆一般自動車

プライベートジェット機

商業用
ジェット機

鉄道

大型船

空港ハイドラント

ヘリコプター

航空自衛隊
戦闘機

クレーン

政府専用機

トラクター

Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q5	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2
2019年9月期		2020年9月期				2021年12月期					2022年12月期				2023年12月期	

*1: 入出港する船舶の接離岸や水上構造物の作業をサポートする船のこと

Copyright Euglena Co., Ltd. All rights reserved.

実証 - 2023年12月期上半期 サステオ供給実績

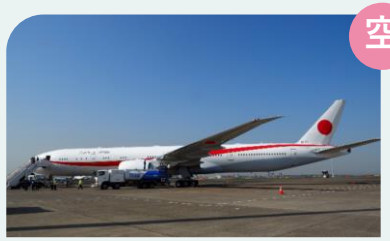
5月開催のG7広島サミットで、陸海空すべての領域のモビリティにサステオを供給

都内においても、東京都との連携協定を通じてバスや都営空港への供給、サービスステーションでの一般販売を実施

G7広島サミットに関する取り組み

記者用シャトルバス（広島電鉄）に「サステオ」を使用

首脳陣の随行者が宮島へ向かう**チャーター高速船「はやしお」**（瀬戸内海汽船）に「サステオ」を使用



岸田内閣総理大臣のG7広島サミット出席に伴い**「サステオSAF」を給油した政府専用機**が運航

東京都との協定*1に基づく取り組み

東京都交通局の小滝橋自動車営業所が所有する**都営バス58両**に「サステオ」を給油、期間限定で運行

東瑞江サービスステーションなどにて「サステオ」の一般販売を期間限定で実施

都営空港の調布飛行場にて「サステオ」を使用した定期旅客便を運航、定期旅客便に「サステオSAF」が使用されるのは今回が初

*1: 2022年10月31日付で東京都と締結した「バイオ燃料導入促進事業に係る協定」

Copyright Euglena Co., Ltd. All rights reserved.

商業化 - バイオ燃料製造プラント建設・運営プロジェクトの概要

最大12,500バレル/日（約72.5万KL/年相当）規模のバイオ燃料製造プラントの建設・運営プロジェクトを、マレーシアにおいてPETRONAS社・Eni社と共同で検討

当社は、推定10億ドル規模の本プロジェクトに目標シェア30%で参画することで、バイオ燃料事業の商業化を目指す
本プロジェクトの規模及び各社シェアは、2023年中に最終決定する見込み

プロジェクト計画概要	
建設地	PETRONAS社のPengerang Integrated Complex（マレーシア南端のジョホール州）
製品	SAF（バイオジェット燃料）、HVO（次世代バイオディーゼル燃料）（製造量はフレキシブルに調整）
使用原料	使用済み植物油、動物性油脂、植物油の加工に伴う廃棄物、将来的には微細藻類由来の藻油などのバイオマス原料
原料処理能力	65万トン/年
製造能力	最大12,500バレル/日（約72.5万KL/年相当）のバイオ燃料*1
スケジュール（予定）	技術的・経済的な実現可能性評価を現在実施中。2025年中の本商業プラント完成を目指して、2023年中に3社間で最終的な投資決定を行う見込み
持分シェア	当社シェアは30%を目標とし、2023年中に最終合意

*1: SAF、HVO、バイオナフサ

Copyright Euglena Co., Ltd. All rights reserved.

研究開発 - マレーシアに新たな研究開発拠点を設立

バイオ燃料原料用途のバイオマス生産・利用に関する研究開発拠点をマレーシアに設立

現地研究員の採用や各種研究活動を開始、研究所立ち上げが順調に進捗

2020年~2021年

インドネシア

- NEDO委託事業として、インドネシアで大規模実証の準備を進めてきたが、コロナ禍や現地パートナー事情により難航

2022年~2023年

三重県多気町「藻類エネルギー研究所*1」

- 生産物の価値最大化を目指して、各生産工程のコスト低減、および製品品質・価格を向上させる技術開発を実施
- インドネシアでは小規模培養試験を継続し、現地生産性評価を実施

2023年5月~

マレーシア「熱帯バイオマス技術研究所*2」

- ユーグレナなどの微細藻類をはじめとしたバイオ燃料原料用途等のバイオマス生産・利用の最大化・最適化を中心とする研究開発を推進
- 現地で研究員を採用し、各種研究活動を開始

藻類エネルギー研究所

熱帯バイオマス技術研究所

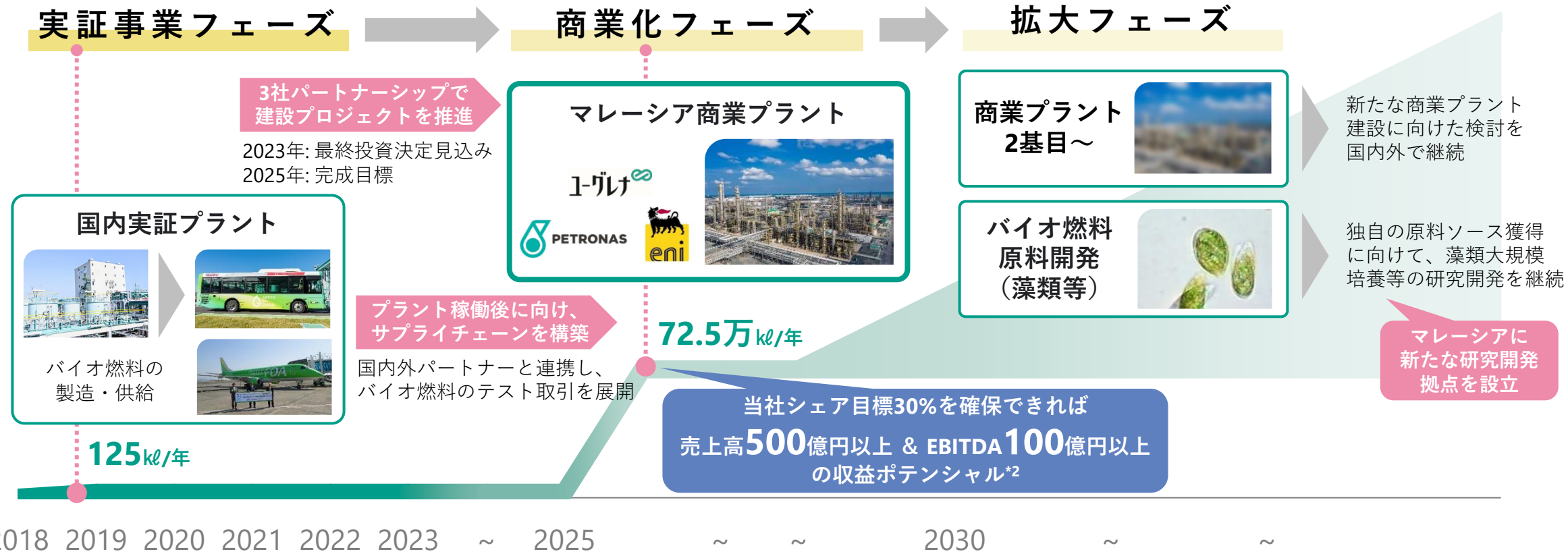
*1: バイオ燃料用微細藻類の大規模、低コスト生産技術の確立を目指すため、2016年より研究開発を開始
*2: マレーシア工科大学（UTM）の研究施設内に設立。「熱帯バイオマス技術研究所」の開設に伴い、「藻類エネルギー技術研究所（三重県）」の機能は「熱帯バイオマス技術研究所」等に移管

Copyright Euglena Co., Ltd. All rights reserved.

バイオ燃料事業 - 中長期的なロードマップ

2023年最終投資決定に向けて、マレーシアでの商業プラント建設プロジェクトを推進

商業化後を見据えて、当社サプライチェーン構築に向けたテスト取引[*1]や、マレーシア研究所での研究開発を展開



*1: 当社は、バイオ燃料などの持続可能な製品の国際的な認証制度の一つであるISCC EU認証（国際持続可能性カーボン認証）を2021年9月に取得済み
*2: バイオ燃料価格250円/ℓ、EBITDAマージン20%、当社持分シェア30%と想定した場合の、当社持分寄与ベースの試算値。実際の売上高・EBITDA規模は、将来のバイオ燃料の原料・製品価格動向、当社の最終シェア、商業プラントの稼働率等によって変動

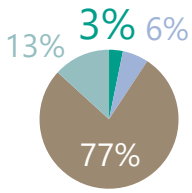
Copyright Euglena Co., Ltd. All rights reserved.

ヘルスケア事業

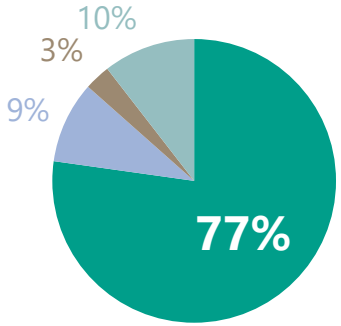
ビジネスモデル - 3つのチャネル展開

グループ売上内訳*1

2012年度：16億円



2022年度：444億円



■直販 ■流通
■OEM等 ■その他

直販(BtoC)

食品&化粧品

当社ECサイト
「ユーグレナオンラインショップ」・
グループ会社ECサイト・通販

流通(BtoB)

食品&化粧品

全国の取扱店網
(美容院・専門店等)

ドラッグストア・
量販店・バラエティ
ショップ等

OEM提供・原料供給

サプリメント
&化粧品

粉末原料

OEM
企業群

大手流通・
食品メーカー

コラボ商品

消費者

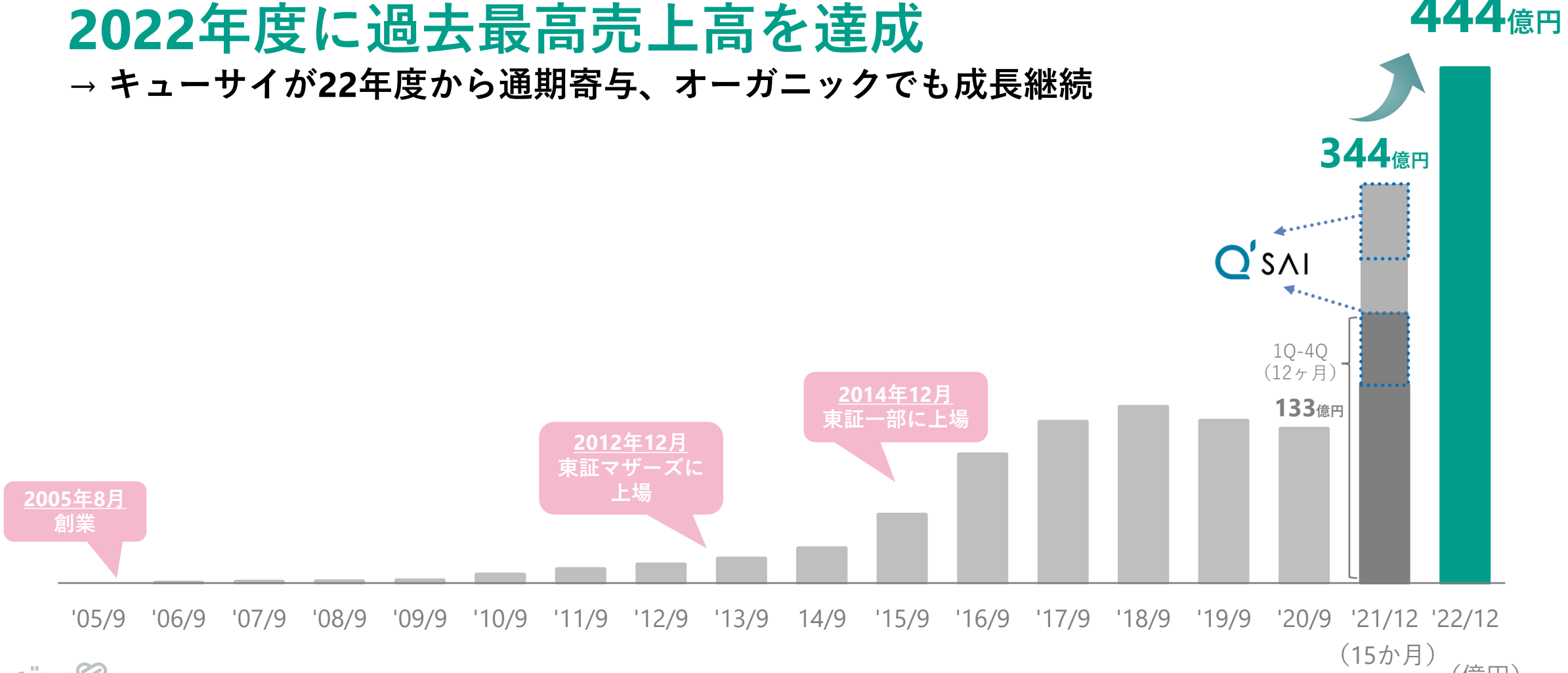
Copyright Euglena Co., Ltd. All rights reserved.

*1: 2012年度は2011年10月~2012年9月、2022年度は2022年1月~2022年12月

事業展開 - 創業期から現在までの売上高推移

2022年度に過去最高売上高を達成

→ キューサイが22年度から通期寄与、オーガニックでも成長継続



Copyright Euglena Co., Ltd. All rights reserved.

ユーグレナ主力商品紹介 -からだにユーグレナ

豊富な栄養素を手軽に摂取できる飲料・サプリメントを展開

3つのこだわり

味

59種類の豊富な栄養素を持つユーグレナをそのまま濃縮
摂取しやすく飲み続けたくなる味に

含有量

食育経験豊富な管理栄養士監修のもと
石垣島ユーグレナを10億個以上/1日、1本に設計

サステナビリティ

地球に配慮している原材料を使用し、容器には再生可能な
紙やバイオマスインキ、プラスチックを可能な限り採用

Copyright Euglena Co., Ltd. All rights reserved.

ユーグレナ主力商品紹介- ユーグレナ成分を主軸とした新ブランド「NEcCO（ネッコ）」

当社のバイオテクノロジーとフィロソフィーを体現した新ブランド「NEcCO」をローンチ

新ブランド「NEcCO」（2023年1月10日発売）

成分へのこだわり

- **4種のユーグレナ成分**[*1]と発酵美肌成分[*2]を配合
- 4種のユーグレナのうち、ユーグレナ発酵オイルとミドリ麹エキスは**新たに研究開発された新成分**で、NEcCOが初配合

サステナビリティへのこだわり

- **無添加処方かつ自然由来指数84%**[*3]を実現
- パッケージ容器や化粧箱、印刷時のインク等は**全て環境負荷低減に寄与する素材を使用**

*1: ユーグレナエキス、加水分解ユーグレナエキス、ユーグレナ発酵オイル、ミドリ麹エキス
*2: 保湿成分：パントエア／コメヌカ発酵エキス液
*3: 水を含む ISO16128 に基づき算出 （フェイスウォッシュ、ローション、エマルジョン、リッチエマルジョン）

Copyright Euglena Co., Ltd. All rights reserved.

今期方針 - サステナブル成長に向けた注力領域と中期目標

売上高成長と利益率を両立するサステナブル成長に向けて、今期は4つの領域に注力

新たな成長の柱と事業基盤の確立により、中期的に売上高500億円、調整後EBITDAマージン10%台半ばを目指す

サステナブル成長に向けた今期の注力領域

① 成長ブランドの創出

② 顧客ロイヤルティの向上

③ チャネル販売力の強化

④ コストシナジーの創出

売上高	中期目標 500億円
調整後EBITDAマージン	中期目標 10%台半ば

Copyright Euglena Co., Ltd. All rights reserved.

①成長ブランドの創出 - 3つの成長領域

2022年度以降に多数の新ブランド投入とリブランディングを実施

ブランド群の新陳代謝を継続し、ポートフォリオ全体の成長を牽引する新たな投資ブランドの確立を目指す

	サステナビリティ	ウェルエイジング	先進的市場創出
食品	からだにユーグレナ ユーグレナ	ひざサポート コラーゲン Q'SAI ザ・ケール Q'SAI	C COFFEE mej SOLUME ユーグレナ
化粧品	one ユーグレナ lavita ORGANICS ユーグレナ NEcCO ユーグレナ あきゅらいず LIGUNA	コラリッチ Q'SAI QetA Q'SAI epo épauler FUSARI épauler	CONC ユーグレナ

ブランド開発でターゲットとする3領域

1 サステナビリティ

独自素材/オーガニック素材や環境に配慮したパッケージを通じて、健康/美容やライフスタイル等の観点から、ウェルビーイングの実現をサポートする商品群

2 ウェルエイジング

「アンチエイジング」ではなく、歳を取ることを肯定しながら幸せを実現する「ウェルエイジング」をコンセプトとした商品群

3 先進的市場創出

多様化する顧客ニーズへ対応することを目的とし、これまでに類を見ない新製品や新ジャンルを創出することをコンセプトとした商品群

2022年以降に新規ローンチ又はリブランディングを実施したブランド

Copyright Euglena Co., Ltd. All rights reserved.

②顧客ロイヤルティの向上 - ブランディング強化に向けた取り組み

グループ全体でブランディング強化のPR・コミュニティづくりに注力

継続的なブランディング施策実行による顧客のファン化でLTVの更なる延伸を目指す

「Sustainability First」

ユーグレナ
いきる、たのしむ、サステナブる。

- 商品券及び株主優待専用カタログを配布、WEB会員が増加

- 定期会員向け会報誌“ユーグレナジャーニー”発刊

「ウェルエイジング支援カンパニー」

人生初を、いつまでも。
Q'SAI

- 福岡で美容家IKKOを起用したチャネル連動型プロモーションを展開

- 既存商品のリブランディングを実施（ザ・ケール）

「en-joy 縁を楽しむ」

épauler

- 既存商品のリブランディングを実施（epo）、新ブランドをローンチ（Fusari）

- ロイヤルカスタマーとの温泉旅行を定期的に開催

Copyright Euglena Co., Ltd. All rights reserved.

③チャネル販売力の強化

拡充したブランド群を着実に売上へと導くべく、各チャネルの販売機能を多面的に強化

直販は広告効率の改善とLTVの向上、流通は配荷店舗数増加と店頭売上の向上、OEMは提案力の向上を目指す

直販チャネル

広告運用力の強化

株式会社 はこ Planning Company HAKO

ユーグレナ Q'SAI épauler

- はこ社のノウハウ展開による、グループ全体の広告効率改善
- 広告運用の内製化によるPDCAのスピードアップ

流通チャネル

直販との連携強化

- 直販/流通のマルチ展開により、直販広告と店舗接点における認知向上の相乗効果
- NEcCOをLOFT100店舗へ導入
- キューサイ新商品をファミリーマート都内7店舗でテスト販売、海外販路も順調

OEM/海外/原料チャネル

提案力の強化

- ユーグレナ食品以外の素材（ミドリ麹、カラハリスイカ、ユーグレナ化粧品等）によるアプローチ先の拡大
- 機能性エビデンスの拡充や新素材・独自原料の開発

Copyright Euglena Co., Ltd. All rights reserved.

④コストシナジーの創出

グループ内での連携強化、ノウハウ共有、機能集約等によるコスト構造の最適化や、外注費の内製化を図ることで、コストシナジーの創出を目指す

グループ外への外注費の内製化

- 外注費の内製化（工場の製造受託・はこ社による広告運用の受託）を推進、物流等のコスト削減施策をグループ横断で検討

キューサイ福岡工場（顆粒）

エポラ出雲工場（打錠、ハードカプセル）

株式会社 はこ
Planning Company HAKO

マーケティング支援

共通機能における連携強化、機能集約

- グループ内製造移管推進
- バックオフィス最適化
- 物流改善/共通購買によるコスト最適化
- グループ内広告運用の最適化
- 新規販売チャネル開拓

2024年度に年間 1億円以上の EBITDA改善を目指す

Copyright Euglena Co., Ltd. All rights reserved.

その他事業/ESG

その他事業

新規事業領域として肥料、遺伝子解析、ソーシャルビジネスなど3つの事業を展開

サステナブルアグリテック

大協肥糧株式会社

研究開発

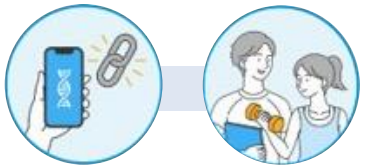
- **自社素材の商業化**
  藻類を用いた機能性肥料・飼料の研究
- **未利用バイオマス資源の活用**
  グループ内外の未利用バイオマス資源（廃棄・ロスしている素材）を集め、肥料・飼料への転用を研究

大協肥糧

- 家庭菜園（園芸用）からプロ農家（農業用）まで幅広い顧客網と商品数を有する有機肥料メーカー（21年12月参画）

バイオインフォマティクス

Genequest



遺伝子解析サービス

- 健康リスク・体質の遺伝的傾向と祖先のルーツの300項目以上を解析できる遺伝子解析サービスを提供

遺伝子解析結果の活用

- 遺伝子解析結果を医療機関、健康組合、フィットネス、美容クリニック等に連携できるサービス（GeneLink）を提供

ソーシャルビジネス

Grameen euglena

ユーグレナ GENKIプログラム

- バングラデシュの子どもたちへユーグレナクッキーを無償で届けるプログラムを展開

緑豆プロジェクト/ 国際機関連携

- バングラデシュの農民が緑豆を栽培し、日本に販売するプロジェクト
- 国際機関（WFP、IFAD）との業務提携により、「緑豆プロジェクト」を加速化

Copyright Euglena Co., Ltd. All rights reserved.

ESG - サステナビリティに関する取組み

ESG投資の世界的指数FTSE Blossom Japan Indexの構成銘柄に初選定、第4代CFOも募集開始

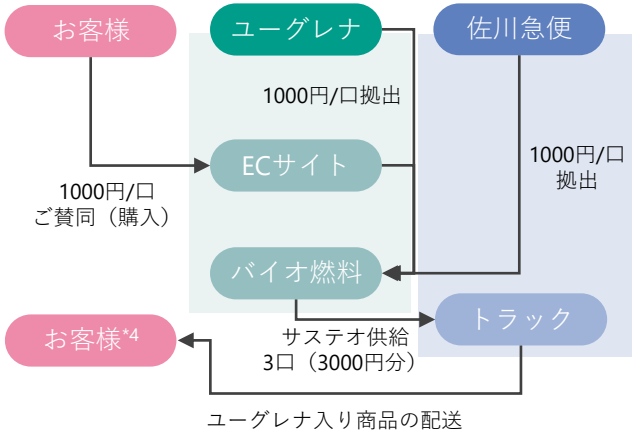
ヘルスケア事業や研究開発においてもサステナビリティに関する取り組みを推進

FTSE Blossom Japan Index 銘柄に初選定*1

FTSE Blossom Japan Index

- GPIF*2がESG投資のベンチマークとして採用する**FTSE Blossom Japan Indexに当社が初選定（日本からの組入銘柄は310社*3）**
- 昨年構成銘柄となったFTSE Blossom Japan Sector Relative Indexは2年連続の選定

サステナブル配送プロジェクト



- ECサイトで1口1000円のバイオ燃料配送料を購入し、その同額を佐川急便とユーグレナ社も拠出する3者プロジェクト
- 大型トラック6台が1カ月間の配送に使用する燃料＝約3,000Lをサステオへ置換
- CO_2排出削減に貢献できるお客様のサステナブルなアクションとして、今後も推進

第4代CFO募集開始

- 当社とともに持続可能な未来をつくる 18歳以下の CFO（Chief Future Officer：最高未来責任者）の新規募集を9月1日より開始（共に活動するフューチャーサミットメンバーも新規募集）
- 「日本だけでなく当社海外展開先の未来世代の声にも聞く必要がある」というCFO提言より、日本語と英語の二か国語で募集

*1: https://www.euglena.jp/companyinfo/sustainability/evaluation/
*2: Government Pension Investment Fund（年金積立金管理運用独立行政法人）の略称
*3: 2023年6月19日時点
*4: ご賛同されたお客様の商品配送のみに限らず、サステオ給油されたトラックは商品配送のために使用されます。

Copyright Euglena Co., Ltd. All rights reserved.

2023年12月期第2四半期決算

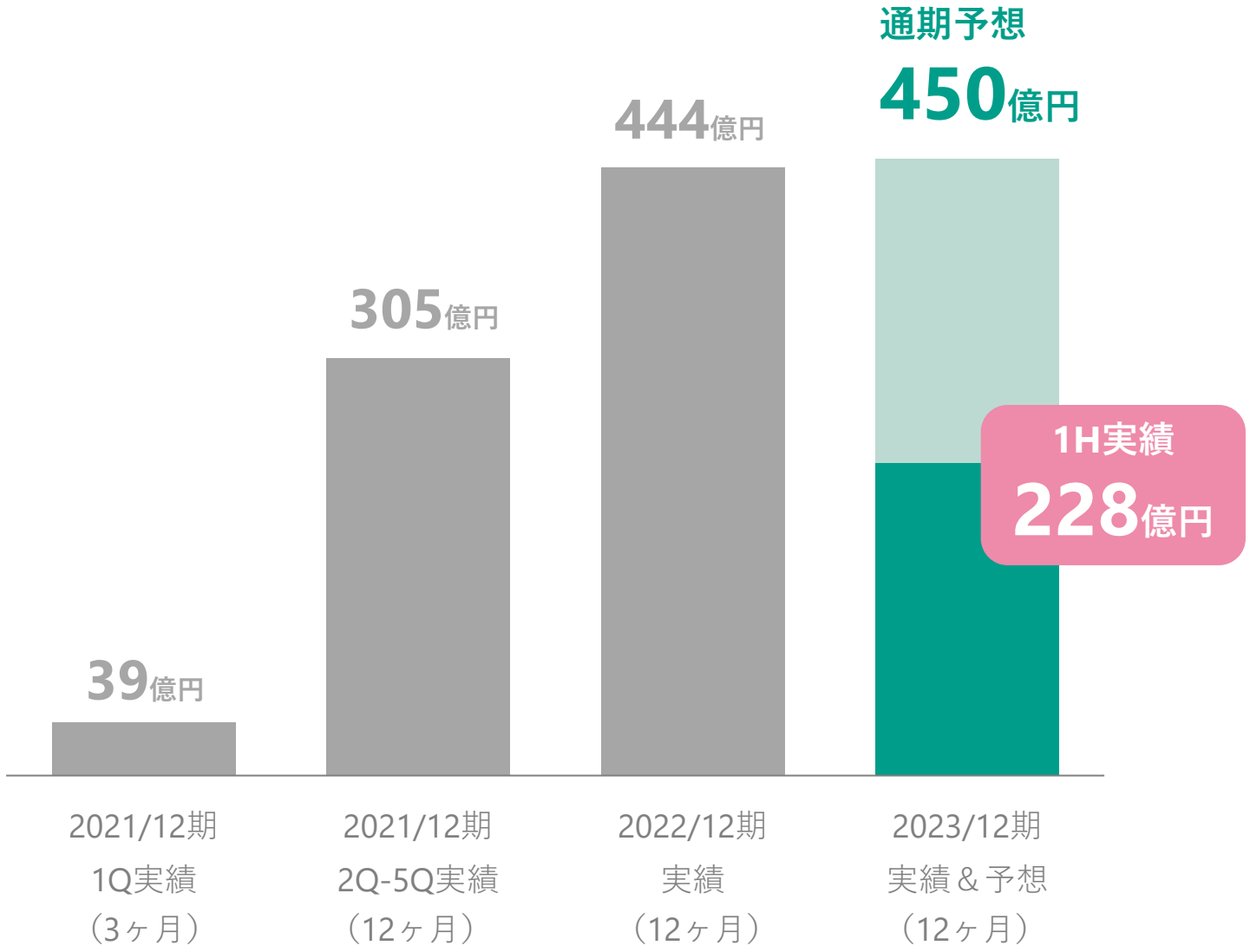
2023年度業績の進捗 - 売上高

2023年度1H売上高

228億円

通期予想比の進捗率は51%、
バイオ燃料事業の上振れにより、
当初計画を若干上回る
ペースで進捗

下期は広告投資漸増で通期予想を
達成し、バイオ燃料事業の進捗
次第では上振れも目指す



Copyright Euglena Co., Ltd. All rights reserved.

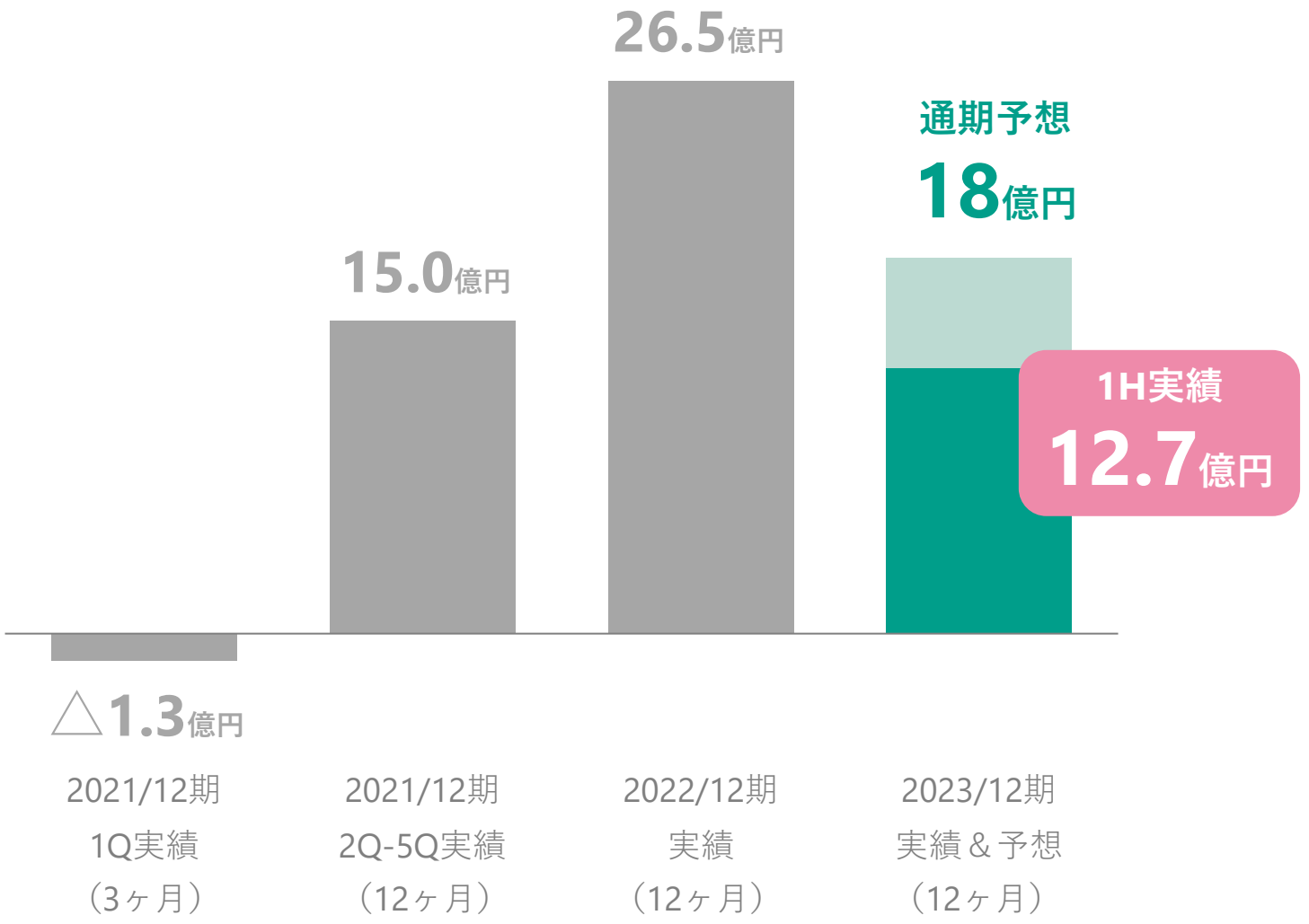
2023年度業績の進捗 - 調整後EBITDA

2023年度1H 調整後EBITDA*1

12.7億円

広告投資予算の一部未消化により
当初計画比では上振れで進捗

下期は広告投資漸増のため
通期予想は据え置き

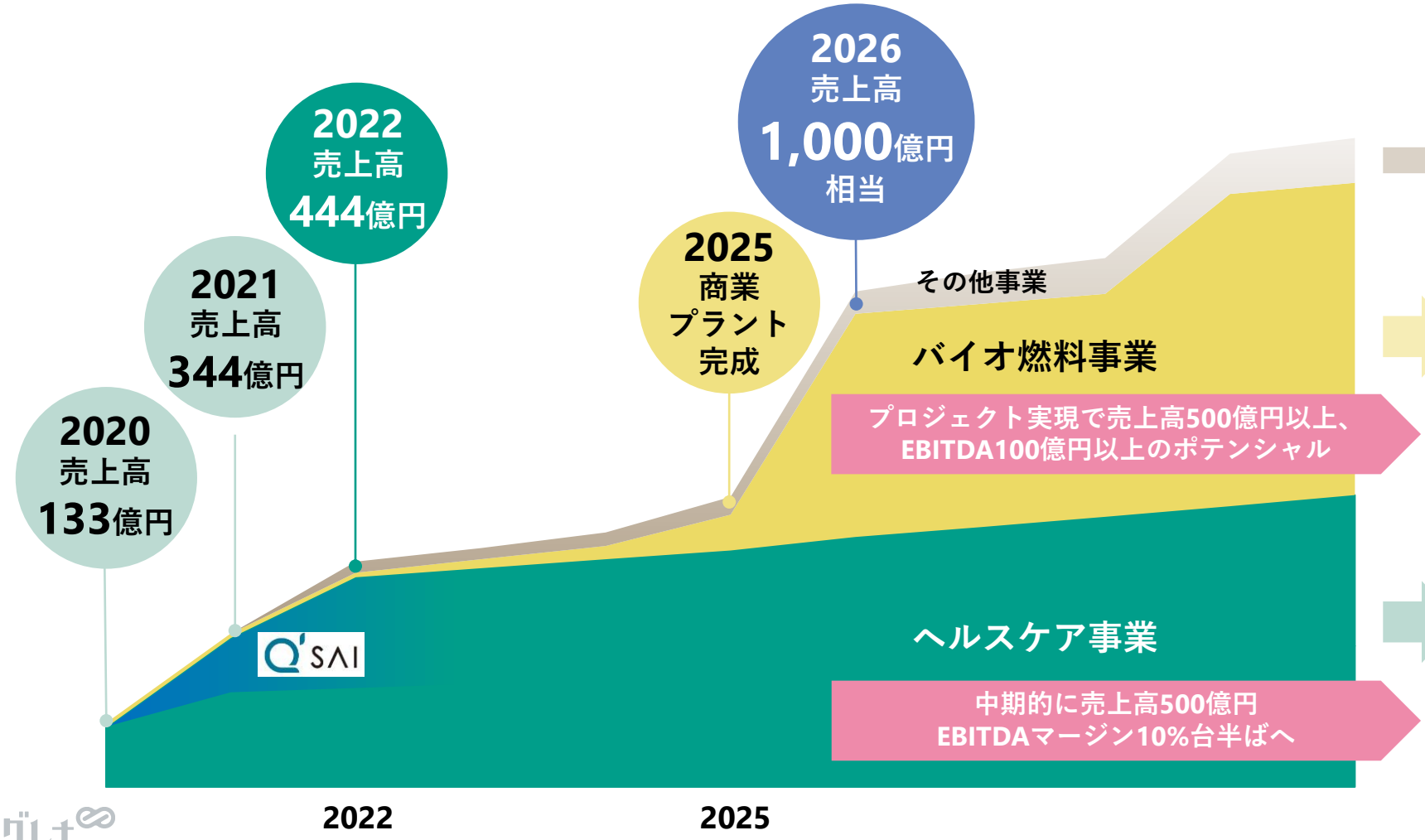


Copyright Euglena Co., Ltd. All rights reserved.

*1: 調整後EBITDAは当社独自の財務指標。計算式は、EBITDA(営業利益＋のれん償却費及び減価償却費)＋助成金収入＋株式関連報酬＋棚卸資産ステップアップ影響額

中長期的な成長イメージ - 3つの成長の柱による収益基盤の拡大と強化

ヘルスケア事業の「サステナブル成長」とバイオ燃料事業の「ロケット成長」により、
売上高と利益の基盤を拡充しつつ、その他事業で新たな収益の柱の創出を目指す



第3の柱となる事業を創出

商業プラント完成により、
売上高と利益の
ロケット成長を実現し、
第2の柱となる事業へ転換

市場平均を上回る売上高成長と
業界平均以上の利益率を
両立させる、
サステナブル成長を実現

Copyright Euglena Co., Ltd. All rights reserved.

補足資料：
会社情報サマリー

会社概要

ユーグレナ

いきる、たのしむ、サステナブる。

創業	2005年8月9日
本店	東京都港区芝5-29-11
資本金	158億3,126万円（2023年6月末時点）
社員数*1	1,070名（連結）（2022年12月末時点）
グループ会社	連結子会社15社（うち、キューサイ・グループ4社、海外合弁会社2社）（2022年12月末時点）
フィロソフィー	Sustainability First（サステナビリティ・ファースト）
パーパス	人と地球を健康にする
上場市場	東京証券取引所プライム市場
証券コード	2931
株主数	117,738名（2023年6月末時点）

Copyright Euglena Co., Ltd. All rights reserved.

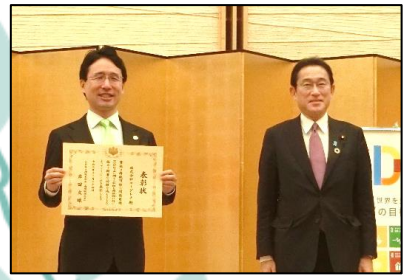
*1: 従業員数：役員、派遣を除く

会社概要 - 受賞歴 / 学術掲載歴

最も革新的でサイエンス志向のバイオベンチャーとして認識されている、日本を代表するスタートアップ

ユーグレナの会社および出雲社長の受賞歴

2021 “内閣総理大臣賞”
第５回 ジャパンSDGs アワード

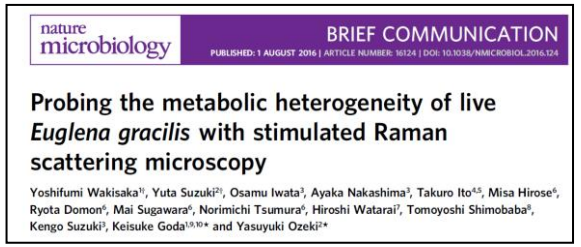


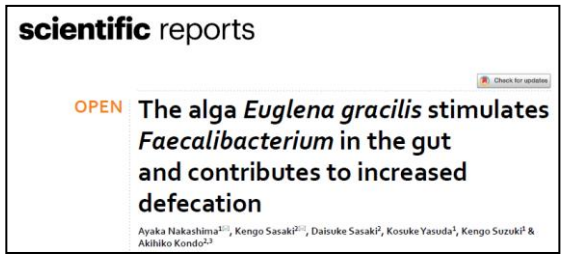
2015 “内閣総理大臣賞”
第１回 日本ベンチャー大賞

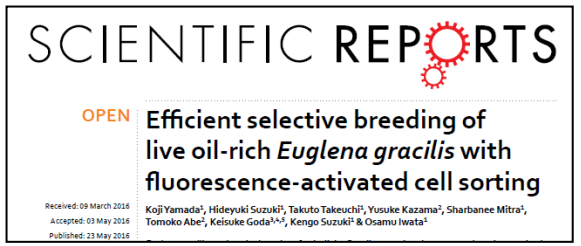
- **2021** “Sustainable Japan Award – 大賞"
  The Japan times
- **2018** 経済産業大臣表彰“知財功労賞”
  経済産業省
- **2017** "George Bernard Shaw Unreasonable Person Award" *
  London Business School, Real Innovation Award
- **2015** "Japan Entrepreneur of the Year" *
  Harvard Business School Club
- **2014** 第8回IPO大賞ルーキー部門受賞
  東京ニュービジネス協議会
- **2013** "JAPAN-US Innovation AWARDS Emerging Leader" *
  Stanford University
- **2012** ジャパンベンチャーアワード2012　経済産業大臣賞
  ジャパンベンチャーアワード
- **2012** “Young Global Leaders” *
  World Economic Forum (ダボス会議)

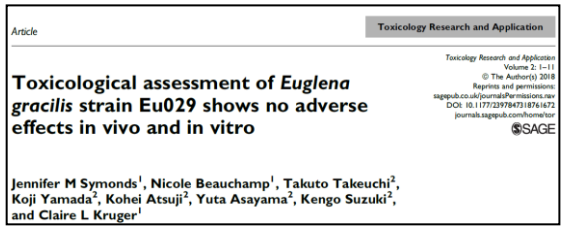
注*: 社長の出雲個人が受賞

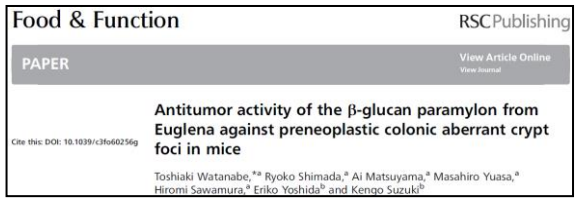
ユーグレナの学術掲載歴

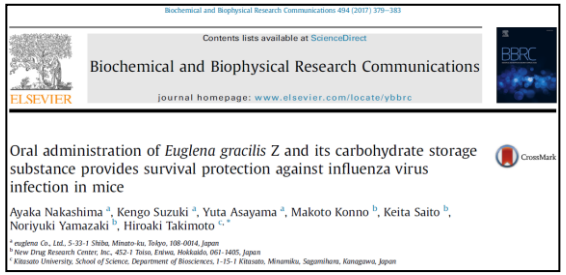

nature microbiology
BRIEF COMMUNICATION
PUBLISHED: 1 AUGUST 2016 | ARTICLE NUMBER: 16124 | DOI: 10.1038/NMICROBIOL.2016.124
Probing the metabolic heterogeneity of live *Euglena gracilis* with stimulated Raman scattering microscopy
Yoshifumi Wakisaka[1†], Yuta Suzuki[2†], Osamu Iwata[3], Ayaka Nakashima[3], Takuro Ito[4,5], Misa Hirose[6], Ryota Domon[6], Mai Sugawara[6], Norimichi Tsumura[6], Hiroshi Watarai[7], Tomoyoshi Shimobaba[8], Kengo Suzuki[3], Keisuke Goda[1,9,10]* and Yasuyuki Ozeki[2]*

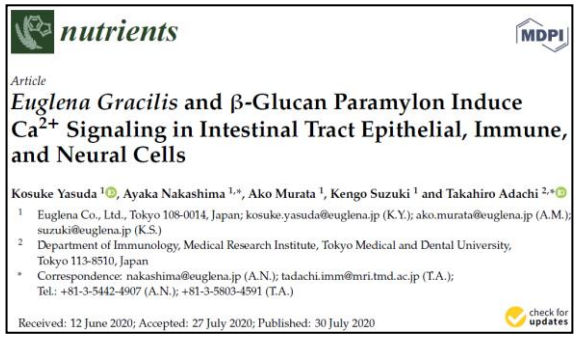

scientific reports
Check for updates
OPEN
The alga *Euglena gracilis* stimulates *Faecalibacterium* in the gut and contributes to increased defecation
Ayaka Nakashima[1,2], Kengo Sasaki[2,3], Daisuke Sasaki[2], Kosuke Yasuda[1], Kengo Suzuki[1] & Akihiko Kondo[2,3]

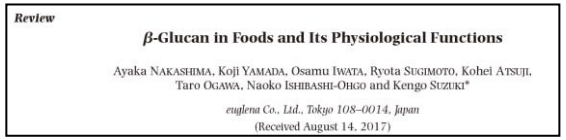

SCIENTIFIC REPORTS
OPEN
Efficient selective breeding of live oil-rich *Euglena gracilis* with fluorescence-activated cell sorting
Received: 09 March 2016
Accepted: 03 May 2016
Published: 23 May 2016
Koji Yamada[1], Hideyuki Suzuki[2], Takuto Takeuchi[2], Yusuke Kazama[2], Sharbanee Mitra[1], Tomoko Abe[2], Keisuke Goda[3,4,5], Kengo Suzuki[1] & Osamu Iwata[1]


Article
Toxicology Research and Application
Toxicological assessment of *Euglena gracilis* strain Eu029 shows no adverse effects in vivo and in vitro
Jennifer M Symonds[1], Nicole Beauchamp[1], Takuto Takeuchi[2], Koji Yamada[2], Kohei Atsuji[2], Yuta Asayama[2], Kengo Suzuki[2], and Claire L Kruger[1]


Food & Function
RSC Publishing
PAPER
View Article Online
Antitumor activity of the β-glucan paramylon from Euglena against preneoplastic colonic aberrant crypt foci in mice
Toshiaki Watanabe,[a*] Ryoko Shimada,[a] Ai Matsuyama,[a] Masahiro Yuasa,[a] Hiromi Sawamura,[a] Eriko Yoshida[b] and Kengo Suzuki[b]


Biochemical and Biophysical Research Communications 494 (2017) 379–383
Contents lists available at ScienceDirect
Biochemical and Biophysical Research Communications
journal homepage: www.elsevier.com/locate/ybbrc
Oral administration of *Euglena gracilis* Z and its carbohydrate storage substance provides survival protection against influenza virus infection in mice
Ayaka Nakashima [a], Kengo Suzuki [a], Yuta Asayama [a], Makoto Konno [b], Keita Saito [b], Noriyuki Yamazaki [b], Hiroaki Takimoto [c,*]


nutrients
MDPI
Article
Euglena Gracilis and β-Glucan Paramylon Induce Ca^{2+} Signaling in Intestinal Tract Epithelial, Immune, and Neural Cells
Kosuke Yasuda [1], Ayaka Nakashima [1,*], Ako Murata [1], Kengo Suzuki [1] and Takahiro Adachi [2,*]
1 Euglena Co., Ltd., Tokyo 108-0014, Japan; kosuke.yasuda@euglena.jp (K.Y.); ako.murata@euglena.jp (A.M.); suzuki@euglena.jp (K.S.)
2 Department of Immunology, Medical Research Institute, Tokyo Medical and Dental University, Tokyo 113-8510, Japan
* Correspondence: nakashima@euglena.jp (A.N.); tadachi.imm@mri.tmd.ac.jp (T.A.); Tel.: +81-3-5442-4907 (A.N.); +81-3-5803-4591 (T.A.)
Received: 12 June 2020; Accepted: 27 July 2020; Published: 30 July 2020
check for updates


Review
β-Glucan in Foods and Its Physiological Functions
Ayaka NAKASHIMA, Koji YAMADA, Osamu IWATA, Ryota SUGIMOTO, Kohei ATSUJI, Taro OGAWA, Naoko ISHIBASHI-OHGO and Kengo SUZUKI*
euglena Co., Ltd., Tokyo 108–0014, Japan
(Received August 14, 2017)

Copyright Euglena Co., Ltd. All rights reserved.

業績推移サマリー - 連結損益計算書

	2022/12期								2023/12期								
	開示業績			実質業績（棚卸資産ステップアップ費用化影響を除いたもの）					開示業績								
	連結合計			連結合計					連結合計								
							うちユーグレナ*1	うちキューサイ				うちユーグレナ*1			うちキューサイ		
（百万円）	1Q	2Q	合計	1Q	2Q	合計			1Q	2Q	合計	1Q	2Q	合計	1Q	2Q	合計
売上高（新区分ベース）	**10,823**	**10,761**	**21,584**	**10,823**	**10,761**	**21,584**	**8,827**	**12,757**	**10,837**	**11,968**	**22,805**	**4,611**	**5,603**	**10,214**	**6,226**	**6,365**	**12,591**
直販	8,696	8,625	**17,320**	8,696	8,625	**17,320**	**6,013**	**11,308**	8,244	8,347	**16,591**	2,587	2,682	**5,269**	5,658	5,665	**11,322**
流通	861	1,022	**1,883**	861	1,022	**1,883**	**795**	**1,088**	891	987	**1,878**	322	287	**609**	568	700	**1,269**
OEM・原料・海外	365	264	**629**	365	264	**629**	**629**	**0**	239	310	**549**	239	310	**549**	0	0	**0**
その他	901	850	**1,751**	901	850	**1,751**	**1,390**	**361**	1,463	2,324	**3,788**	1,463	2,324	**3,787**	0	0	**0**
売上原価	3,466	2,951	**6,417**	2,683	2,467	**5,150**	**2,667**	**2,483**	2,996	4,028	**7,024**	1,827	2,739	**4,566**	1,169	1,289	**2,458**
売上総利益	**7,357**	**7,810**	**15,167**	**8,139**	**8,295**	**16,434**	**6,160**	**10,274**	**7,841**	**7,940**	**15,781**	**2,784**	**2,864**	**5,648**	**5,057**	**5,076**	**10,133**
粗利率	68%	73%	**70%**	75%	77%	**76%**	**70%**	**81%**	72%	66%	**69%**	60%	51%	**55%**	81%	80%	**80%**
（内 ヘルスケア事業）	71%	76%	**73%**	79%	81%	**80%**	**78%**	**81%**	76%	74%	**75%**	69%	65%	**67%**	81%	80%	**80%**
販売費及び一般管理費	**8,084**	**8,506**	**16,589**	**8,084**	**8,506**	**16,589**	**7,211**	**9,378**	**8,017**	**8,524**	**16,542**	**3,403**	**3,614**	**7,017**	**4,615**	**4,910**	**9,525**
販売費	5,201	5,481	**10,682**	5,201	5,481	**10,682**	**4,148**	**6,534**	5,157	5,362	**10,519**	1,808	1,984	**3,791**	3,349	3,378	**6,728**
（内 広告宣伝費）	2,583	2,825	**5,408**	2,583	2,825	**5,408**	**2,214**	**3,193**	2,669	2,789	**5,458**	978	1,026	**2,005**	1,690	1,763	**3,454**
人件費	1,110	1,199	**2,309**	1,110	1,199	**2,309**	**1,288**	**1,021**	1,176	1,249	**2,425**	710	743	**1,453**	466	506	**972**
管理費	1,417	1,452	**2,869**	1,417	1,452	**2,869**	**1,100**	**1,769**	1,397	1,610	**3,007**	604	590	**1,194**	792	1,021	**1,813**
研究開発費	355	374	**730**	355	374	**730**	**676**	**54**	288	303	**591**	281	297	**579**	7	6	**13**
営業利益	**-727**	**-695**	**-1,423**	**56**	**-211**	**-155**	**-1,051**	**896**	**-176**	**-584**	**-760**	**-619**	**-750**	**-1,369**	**442**	**166**	**609**
調整後EBITDA*2	**1,555**	**666**	**2,221**	**1,555**	**666**	**2,221**	**158**	**2,063**	**777**	**495**	**1,272**	**-214**	**-411**	**-625**	**991**	**906**	**1,897**
営業外損益	809	16	**825**	809	16	**825**	**1,097**	**-272**	65	56	**121**	179	162	**341**	-114	-107	**-221**
（内 助成金収入）	675	13	**688**	675	13	**688**	**684**	**4**	189	115	**303**	187	111	**298**	2	3	**5**
経常利益	**82**	**-679**	**-598**	**864**	**-195**	**669**	**46**	**624**	**-111**	**-529**	**-640**	**-439**	**-588**	**-1,028**	**328**	**60**	**388**
特別損益	2	1	**3**	2	1	**3**	**3**	**-0**	30	-9	**21**	30	-6	**24**	0	-3	**-3**
親会社株主に帰属する当期純利益	40	-505	**-465**	493	-332	**161**	**na**	**na**	-168	-746	**-914**	na	na	**na**	na	na	**na**
【参考指標】																	
減価償却費*3	581	584	**1,165**	581	584	**1,165**	**293**	**871**	524	723	**1,247**	121	130	**251**	403	593	**996**
（内 M&A関連）	355	355	**709**	355	355	**709**	**86**	**624**	365	360	**725**	54	48	**102**	312	312	**623**
のれん償却額	203	203	**405**	203	203	**405**	**114**	**291**	212	212	**423**	68	68	**137**	143	143	**287**
棚卸資産ステップアップ費用	783	484	**1,267**	-	-	**-**	**-**	**-**	-	-	**-**	-	-	**-**	-	-	**-**

*1: 連結PLからキューサイ・グループPL（キューサイ・グループとその他グループ間の連結相殺反映後）を控除した金額で、グループ会社PLを含む
*2: 調整後EBITDAは当社独自の財務指標。計算式は、EBITDA(営業利益＋のれん償却費及び減価償却費）＋助成金収入＋株式関連報酬＋棚卸資産ステップアップ影響額
*3: 調整後EBITDAの算出に使用した金額であり、連結キャッシュ・フロー計算書の数値とは異なる

Copyright Euglena Co., Ltd. All rights reserved.

業績推移サマリー - セグメント別PL

事業セグメント別内訳（棚卸資産ステップアップ費用化影響を除く）

（百万円）	2022/12期 '22Q1	'22Q2	'22Q3	'22Q4	合計	2023/12期 '23Q1	'23Q2	合計
連結合計（S/U除く）								
売上高	10,823	10,761	10,752	12,056	**44,393**	10,837	11,968	**22,805**
増減率	*na*	*-1%*	*0%*	*12%*	***na***	*-10%*	*10%*	***na***
売上総利益	8,139	8,295	7,917	8,510	**32,861**	7,841	7,940	**15,781**
対売上高比率	*75%*	*77%*	*74%*	*71%*	***74%***	*72%*	*66%*	***69%***
調整後EBITDA	1,555	666	268	160	**2,649**	777	495	**1,272**
対売上高比率	*14%*	*6%*	*2%*	*1%*	***6%***	*7%*	*4%*	***6%***
ヘルスケア事業（S/U除く）								
売上高	10,124	10,103	10,108	11,282	**41,617**	10,026	10,485	**20,511**
増減率	*na*	*0%*	*0%*	*12%*	***na***	*-11%*	*5%*	***na***
売上総利益	7,960	8,160	7,707	8,267	**32,094**	7,663	7,743	**15,406**
対売上高比率	*79%*	*81%*	*76%*	*73%*	***77%***	*76%*	*74%*	***75%***
調整後EBITDA	1,412	1,258	827	809	**4,305**	1,301	1,067	**2,368**
対売上高比率	*14%*	*12%*	*8%*	*7%*	***10%***	*13%*	*10%*	***12%***
バイオ燃料事業								
売上高	22	42	105	94	**263**	52	849	**901**
増減率	*na*	*91%*	*149%*	*-10%*	***na***	*-44%*	*1530%*	***na***
売上総利益	14	9	49	40	**112**	-1	34	**33**
対売上高比率	*64%*	*20%*	*47%*	*43%*	***43%***	*-2%*	*4%*	***4%***
調整後EBITDA	449	-188	-119	-204	**-62**	-147	-142	**-289**
助成金収入	612	0	45	0	**657**	79	57	**136**
その他事業								
売上高	677	616	540	680	**2,513**	759	634	**1,393**
増減率	*na*	*-9%*	*-12%*	*26%*	***na***	*12%*	*-17%*	***na***
売上総利益	165	126	161	203	**656**	180	163	**342**
対売上高比率	*24%*	*20%*	*30%*	*30%*	***26%***	*24%*	*26%*	***25%***
調整後EBITDA	26	-37	-29	-64	**-104**	28	-41	**-13**
対売上高比率	*4%*	*-6%*	*-5%*	*-9%*	***-4%***	*4%*	*-6%*	***-1%***
全社								
売上高	0	0	0	0	**0**	0	0	**0**
売上総利益	0	-0	-0	0	**-0**	0	0	**0**
調整後EBITDA	-332	-367	-411	-381	**-1,491**	-404	-389	**-793**

ヘルスケア事業内訳（棚卸資産ステップアップ費用化影響を除く）

（百万円）	2022/12期 '22Q1	'22Q2	'22Q3	'22Q4	合計	2023/12期 '23Q1	'23Q2	合計
ユーグレナ・ヘルスケア[*1]								
売上高	2,098	2,044	1,946	2,235	**8,323**	1,883	2,014	**3,897**
増減率	*na*	*-3%*	*-5%*	*15%*	***na***	*-16%*	*7%*	***na***
売上総利益	1,526	1,495	1,418	1,513	**5,952**	1,425	1,442	**2,867**
対売上高比率	*73%*	*73%*	*73%*	*68%*	***72%***	*76%*	*72%*	***74%***
調整後EBITDA	66	0	-43	-87	**-64**	173	66	**240**
対売上高比率	*3%*	*0%*	*-2%*	*-4%*	***-1%***	*9%*	*3%*	***6%***
エポラ								
売上高	1,010	966	1,007	1,108	**4,091**	951	901	**1,852**
増減率	*na*	*-4%*	*4%*	*10%*	***na***	*-14%*	*-5%*	***na***
売上総利益	774	748	764	835	**3,120**	738	722	**1,460**
対売上高比率	*77%*	*77%*	*76%*	*75%*	***76%***	*78%*	*80%*	***79%***
調整後EBITDA	15	25	-51	-49	**-60**	4	-17	**-14**
対売上高比率	*1%*	*3%*	*-5%*	*-4%*	***-1%***	*0%*	*-2%*	***-1%***
MEJ								
売上高	778	748	548	492	**2,567**	393	444	**837**
増減率	*na*	*-4%*	*-27%*	*-10%*	***na***	*-20%*	*13%*	***na***
売上総利益	659	621	463	410	**2,152**	325	347	**672**
対売上高比率	*85%*	*83%*	*84%*	*83%*	***84%***	*83%*	*78%*	***80%***
調整後EBITDA	351	115	192	157	**815**	71	25	**96**
対売上高比率	*45%*	*15%*	*35%*	*32%*	***32%***	*18%*	*6%*	***11%***
キューサイ・グループ[*2]								
売上高	6,334	6,478	6,270	6,649	**25,731**	6,264	6,408	**12,672**
増減率	*na*	*2%*	*-3%*	*6%*	***na***	*-6%*	*2%*	***na***
売上総利益	5,013	5,316	4,996	5,359	**20,683**	5,095	5,120	**10,215**
対売上高比率	*79%*	*82%*	*80%*	*81%*	***80%***	*81%*	*80%*	***81%***
調整後EBITDA	986	1,132	707	700	**3,524**	1,028	949	**1,977**
対売上高比率	*16%*	*17%*	*11%*	*11%*	***14%***	*16%*	*15%*	***16%***
事業内共通・相殺、はこ社[*3]								
売上高	-96	-134	336	799	**905**	536	717	**1,254**
売上総利益	-12	-19	67	150	**186**	79	112	**191**
調整後EBITDA	-5	-14	21	88	**90**	25	44	**68**

*1: ユーグレナ社のヘルスケア事業及びグループ会社のLIGUNA、八重山殖産、上海ユーグレナの合計
*2: キューサイ社及びQ-Partners、キューサイファーム島根、キューサイ分析研究所（2022年8月末に売却）、CQベンチャーズの合計。内部取引相殺を区分したため、前頁数値と相違あり
*3: ヘルスケア事業全体の共通費、各ヘルスケア事業内グループ間の連結相殺、はこ社（2022年7月よりPL連結）の合計

Copyright Euglena Co., Ltd. All rights reserved.

業績推移サマリー - 連結貸借対照表

（百万円）	2020/9末	2021/6末	2021/9末	2021/12末	2022/3末	2022/6末	2022/9末	2022/12末	2023/3末	2023/6末
		キューサイ連結化	キューサイPPA*1反映							
流動資産	**9,792**	**18,925**	**23,422**	**20,438**	**20,343**	**19,436**	**21,320**	**19,694**	**26,225**	**24,560**
現金及び預金	6,254	10,761	11,000	9,901	10,145	9,471	11,646	9,954	16,819	16,299
棚卸資産	1,800	4,509	8,613	6,462	5,986	5,458	5,277	4,623	4,677	4,193
（内　棚卸資産ｽﾃｯﾌﾟｱｯﾌﾟ）	-	-	3,977	1,865	1,082	597	391	-	-	-
その他	1,737	3,655	3,810	4,076	4,212	4,506	4,397	5,117	4,729	4,069
固定資産	**5,560**	**40,099**	**40,643**	**40,569**	**39,832**	**39,213**	**38,805**	**37,581**	**37,049**	**36,257**
有形固定資産	3,304	6,910	6,878	6,852	6,836	6,743	6,059	5,848	5,795	5,771
無形固定資産	1,560	31,551	32,050	31,904	31,291	30,691	30,889	30,023	29,489	28,771
（内　のれん）	961	29,345	12,767	13,035	12,832	12,629	12,697	12,486	12,274	12,062
（内　顧客関連資産）	286	1,116	17,349	17,011	16,673	16,336	16,525	16,174	15,825	15,482
投資その他の資産	695	1,637	1,715	1,814	1,705	1,778	1,857	1,710	1,765	1,715
総資産	**15,351**	**59,023**	**64,065**	**61,008**	**60,175**	**58,649**	**60,124**	**57,276**	**63,274**	**60,817**
負債	**5,964**	**34,777**	**41,878**	**40,419**	**39,774**	**38,788**	**39,004**	**37,922**	**40,808**	**39,082**
流動負債	2,160	9,654	10,437	10,634	10,613	10,995	11,283	12,277	10,787	10,275
（内　短期借入金）	547	2,196	2,182	2,288	2,164	2,495	2,473	2,709	2,732	2,509
固定負債	3,804	25,123	31,441	29,785	29,161	27,792	27,721	25,645	30,021	28,807
（内　長期借入金）	3,217	23,743	23,580	22,599	22,436	21,324	21,389	19,497	19,247	18,120
（内　繰延税金負債*2）	165	468	6,938	6,297	5,867	5,593	5,483	5,330	5,159	5,071
（内　転換社債）	-	-	-	-	-	-	-	-	4,800	4,800
純資産	**9,387**	**24,246**	**22,187**	**20,589**	**20,401**	**19,861**	**21,120**	**19,354**	**22,466**	**21,736**
株主資本	9,373	23,951	21,812	20,183	20,011	19,477	20,727	18,958	22,456	21,736
（内　資本金）	7,324	13,879	13,888	13,888	13,905	13,950	13,970	13,985	15,818	15,831
（内　資本剰余金）	2,230	10,614	10,623	11,602	11,619	11,664	13,301	13,316	15,149	15,162
（内　利益剰余金）	(85)	(508)	(2,666)	(5,273)	(5,479)	(6,102)	(6,510)	(8,309)	(8,477)	(9,223)
その他	13	295	375	405	391	384	393	396	10	(0)
負債・純資産合計	**15,351**	**59,023**	**64,065**	**61,008**	**60,175**	**58,649**	**60,124**	**57,276**	**63,274**	**60,817**

*1:　PPA（Purchase Price Allocation）は、買収企業の有形資産・無形資産を連結時点の公正価値にて評価し、取得原価との差額をのれんとして計上する会計処理
*2:　PPAを反映した連結期初の残高は6,707百万円。棚卸資産のステップアップに伴い、含み益相当額に対する繰延税金負債を計上

Copyright Euglena Co., Ltd. All rights reserved.

事業展開 - M&Aによる成長

M&Aはユーグレナにおける重要な戦略に位置付けられている

2005年8月
創業

ユーグレナ
2005年8月
創業

バリューチェーンの強化

HELLSEN ヘルスン未来の健康科学
2017年4月
販売チャネル (B2C)

クロレラサプライ
2016年12月
販売チャネル/生産機能

épauler
2015年9月
販売チャネル (B2C)

euglena art
2015年3月
販売チャネル (B2B)

yaeyama
2013年3月
生産機能

*2

新たな技術領域の獲得

Genequest
2017年10月
遺伝子検査

ユーグレナ竹富エビ養殖
2015年9月
エビの養殖

デジタルに特化したD2C企業の獲得

LIGUNA
2021年3月
スキンケア D2C

mej
2019年6月
健康食品 D2C

HOOK
2018年4月
健康食品 D2C

非連続成長の達成

株式会社 はこ
2022年5月
ネット広告/デジタル

Q'SAI
2021年6月
健康食品/スキンケア
通販会社

Daikyo 大協肥糧
2021年11月
肥料

Vegewel
Frembassy
2022年2月
販売チャネル(B2C)

ILLUMINATE
2022年1月
フェムテック

売上貢献割合 *1

*1: 連結売上高に対するユーグレナヘルスケア、エポラ、MEJ、キューサイグループ、その他の売上高の構成比
*2: 2005年当時の培養設備で現在は違う設備を使用

Copyright Euglena Co., Ltd. All rights reserved.

Copyright Euglena Co., Ltd. All rights reserved.